

令和4年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 社会福祉法人湯沢市社会福祉協議会 通所支援事業所なないろ
公表 令和5年3月6日

自己評価実施日 令和5年1月30日

対象者数 4名 回答数 4名 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・一日の利用定員10名に対して、基準以上のスペースを確保しております。 ・一人一人の特性や療育内容に応じて訓練室やホール使用を工夫し、安全、快適に過ごすことが出来るようにしております。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・法定設置基準人員を満たしております。その他に児童指導員を配置しています ・管理者、児童発達支援管理責任者の他、保育士、児童指導員、作業療法士を配置し、各専門分野を生かした支援に対応しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・児童の利用スペースはバリアフリー化がなされており、室内には手すり、スロープ、車いす対応トイレや洗面台、低年齢用トイレが設置されております。玄関前にはスロープ、階段への手すりが設置されており、安全にご利用いただくことが出来るようになっております。

業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）サイクルに応じて、全職員で利用者様一人ひとりの支援に努めております。改善が必要な時は保護者様にも丁寧にご説明をし療育を進めていくようにしております。 ・月に1回の定例職員会議、所内研修においては常勤、非常勤すべての職員が参加して、業務の見直しや支援内容の共通理解を図るようにしております。
	⑤	保護者等向け評価を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からの評価結果をが業務に反映することができるよう、寄せられたご意見に応じて法人又は事業所内で検討、改善する機会をもっております。 ・保護者様とは常日頃からのコミュニケーションが大切であると考え、こまめにお子様の利用時の様子をお伝えするとともに、ご不明な点等においてはいつでも対応する体制を整えております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・公表制度に則り、評価結果を法人 HP に掲載するとともに、事業所玄関においても掲示をし保護者様等が、いつでもご覧いただけるよう対応しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員会を設置していないため、第三者委員会による外部評価は行っていないですが、今後の課題として認識しております。

	⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により今年度はオンライン研修が多かったのですが、全職員が事業所内研修、外部研修、法人研修と様々な研修に参加できるよう配慮し参加しております。 ・参加した研修については、事業所内会議において伝達研修を行うとともに、年間計画に基づいた月1回の所内研修の場において児童支援に携わる職員の資質向上に役立てております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際に保護者様と相談支援専門員さんに同席していただき細やかにアセスメントをさせていただいております。また半年に1回、保護者様の意向等をお伺いしモニタリングを行い、個別支援計画に反映しております。 ・モニタリング時期でなくともご家族様からのご相談に応じて個別支援計画の変更や見直しの対応をいたします。いつでも気兼ねなくご相談くださるようお願いいたします。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたアセスメントツールを使用するとともに、一人ひとりの特性に応じてより詳しく把握するためのツールを状況に応じて使用するようしております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議や日々の打合せにおいて一人ひとりの様子を職員全員で話し合いながら、集団療育、個別療育のプログラムに反映させております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達段階に応じて個別療育のプログラムを構成しております。また、医療療育センターや学校等、各関係機関と連携しながら活動を進めるようにしております。 ・集団療育に関しては小集団の中で児童一人ひとりの良さが発揮でき自信へつながらるようなプログラムの作成に努めております。また、月ごとに季節感や内容に少しずつ変化をも

				<p>たせることにより興味関心を持って参加できるようにしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業時においては親子レクリエーションや児童のみのレクリエーションの機会をもつようにしております。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルスの感染予防に努めながら様々な活動が継続できるよう支援に努めてきました。保護者の皆様のご協力にも大変感謝いたしております。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動と個別活動においては、一人ひとりの特性に応じて提供できるよう配慮しております。また、長期休業時には集団、個別ともじっくりと取り組めるような内容を精査し実施するようにしており、どの時期も個別支援計画と連動するようにしております。
⑮	支援開始には職員間で必ず打ち合わせをし、その日の行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前の午前中に必ず打ち合わせをするようにしております。また、急な変更等においても職員間の報告、連絡、相談サイクルを徹底し支援にあたるよう努めております。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・時差出勤のため支援終了後の打ち合わせは難しい状態にありますが、緊急を要する場合は職員間で情報を共有したり、法人本部へ報告、相談をしたりしております。基本的には翌日の午前中に前日の振り返りや伝達を必ず行うようにしております。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		・職員間で分担しながら一人ひとりの、利用時の支援記録の記入をしております。支援の内容を記録に残すことが支援の振り返りとなり検証・改善へつなげております。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4		・6か月に一度モニタリングを実施し、個別支援計画の見直しや目標の達成を評価しております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4		・ガイドラインに沿って支援を組み立てるとともに、個別の成長過程にあわせ療育内容を行っております。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	4		・サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者と管理者が参加し、児童の様子等を把握し状況に応じて報告できるようにしております。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・学校とは長期休業前の連絡協議会や、必要に応じてケース会議の開催をしております。また、個別支援計画の共有を図り支援内容や児童の特性を共有しております。 ・年間計画、行事予定、送迎時間等においては電話やメール、FAX等で連絡を取り合っております。 ・トラブルの発生時においては送迎時に担任等から伝達を受ける他、電話にて連絡を取り合うようにしております。

②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1	・現在、医療的ケアが必要な児童の受け入れは行っておりません。
②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4		・就学前の情報共有の必要性がある場合には、保護者を通じて所属園への情報共有を紙面等でお願いをしております。 ・児童発達事業（市主催、幼児教室、保護者主催のすぎの子会）への職員の派遣を通して地域に暮らす幼児の情報を把握するようにしております。
②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	・保護者様又は担当相談員さんより、依頼があった場合には保護者様の同意を得たうえで情報を提供をしております。
②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	・新型コロナウイルス対策を十分に取りながら、市主催の未就学児を対象とする幼児教室等へスタッフとして参加し助言や定期的な研修を受け、職員の資質向上に努めております。
②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	・地域において共に暮らす児童同士が交流を図ることは、成長段階においてもとても重要ですが、保護者様からの交流を希望しないご意見もあり、今後、丁寧な話し合いを通して慎重に進めていくべき課題と認識しております。
②⑦	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4		・湯沢雄勝地域包括支援ネットワーク協議会、児童支援・療育部会兼湯沢雄勝特別支援連携協議会に参加し多職種間で連携をし地域の課題等に取り組んでおります。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様とは連絡帳の活用、送迎時や面談等を活用し、利用時の様子をこまめにお伝えするようにしております。また、家庭での様子をお伺いしながらコミュニケーションを密にし共通理解を図るように努めております。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングについては所内研修において児童発達支援管理責任者が担当し研修しておりますが、より専門的な研修の機会ももつよう検討しております。 ・ペアレントトレーニングが必要な場合は、いつでも対応いたします。
保護者への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく、具体的に説明するように努めておりますが、ご不明な点がある際はいつでもご説明をいたします。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様とは日頃からの信頼関係の構築に努め、話しやすい雰囲気心を心がけ、助言や相談に応じております。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会、保護者会は設置されていない。 ・父母の会等の設置や保護者同士の連携は今後の重要な課題であると認識しております。保護者の皆様のご意見を伺いながら丁寧に進めていきたいと考えております。

③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時や面談の際に、苦情対応について丁寧にご説明させていただいております。また、管理者が苦情窓口となっており、法人内の苦情解決委員会で審議し迅速に解決するよう努めております。
③④	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・年4回の社協だよりやHP、毎月のなないろだよりを通して法人や事業所の運営内容を発信しております。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所重要事項等に規定されている守秘義務を順守し、常に研修を重ね個人情報の取り扱い等に配慮することを職員全体で周知徹底しております。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の配慮をしているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の打ち合わせや記録を基に、児童の行動の様子を見ながら、適切な自己表出を汲み取れるように支援をしております。 ・保護者様との意思疎通を大切に考えており、子どもの情報を共有するのは勿論のこと、保護者様の話にも耳を傾けるよう心掛けて対応をしております。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ということもあり、今年度も地域住民との交流が難しい状況でした。今後の課題として地域に開かれた事業所の運営方法を検討していく必要性を認識しております。 ・今年度は事業所周辺のクリーンアップを実施し事業所側から地域の皆様に挨拶をしながら関わるようにしていきました。今後も継続していく予定であります。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内では職員研修等を通して各マニュアルを周知する機会をもっております。保護者様に対しては契約時や面談時等にご説明をしておりますが、ご不明な点についてはいつでも対応をいたしております。 ・今年度は事業所カウンター上に各種マニュアルを設置し、いつでも保護者様が閲覧できるようにしております。 ・感染症マニュアルについては準備中であり早急に整えるようにいたします。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する法人本部と連携して、非常災害の訓練を行っております。 ・避難訓練に対しては年間計画を作成し、月末の2日間を利用し様々な災害や不審者対応等の訓練を実施しております。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・職員が交代で「障害者虐待防止・権利擁護研修」を受講し伝達研修を実施しております。また、定期的な事業所内研修をすることで、職員全体で適切な対応ができております。 ・法人内において年に1回以上の障害者虐待防止委員会を開催しております。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束においては事業所、障害者虐待防止マニュアルや運営規定重要事項説明書、契約書等に記載しており、行わないことを丁寧に保護者様にご説明しておりますが、今後は個別支援計画書においても分かりやすく記載するようにいたします。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・現在は食物アレルギーを持つ児童はおりませんが、利用前のアセスメント等を丁寧に行い事故防止に努めるとともに医師と連携をしながら指示書に基づいて対応をするようにいたします。

	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・ヒヤリハット報告書を整備しており、その都度作成しております。また、必ず全職員で情報を共有し検証、再発防止に努め、事故に繋がらないようにしております。
--	----	----------------------------	---	--	--	---